ウィークリー・マーケット

2026年10月第2週号（2026年10月13日発行）

amova アモーヴァ・アセットマネジメント　アセットマネジメント(am)をムーヴ(move)する

Weekly Market

ご参考資料

主要指標の動き

2026年10月9日時点（1週間前＝10月2日、3ヵ月前＝7月9日、6ヵ月前＝4月9日、1年前＝2025年10月9日）なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
世界	世界株価 注1	637.65	0.7	2.6	11.9	17.0	14.3
	先進国株価 注2	16,072.59	0.7	2.6	11.7	15.8	13.1
	先進国(除く日本)株価 注3	18,492.94	0.8	2.4	11.7	15.3	12.6
	新興国株価 注4	948.29	0.0	2.6	13.2	26.7	23.7
日本	日経平均株価	69,030.92	1.1	1.9	23.5	42.1	37.1
	JPX日経インデックス400	36,945.15	0.7	1.5	9.2	25.7	20.3
	TOPIX (東証株価指数)	4,104.81	0.3	2.1	9.7	26.0	20.4
	東証プライム市場指数	2,116.01	0.3	2.0	9.7	26.2	20.5
	東証スタンダード市場指数	1,714.94	▲ 0.6	5.2	2.4	15.0	11.5
	東証グロース市場指数	1,026.50	0.8	11.3	4.4	4.3	16.1
米国	NYﾀﾞｳ 工業株30種	51,654.95	0.9	▲ 1.6	7.2	11.4	7.5
	S&P 500種	7,811.54	1.2	3.6	14.5	16.0	14.1
	ナスダック総合	27,366.17	0.6	4.4	19.9	18.9	17.7
	ナスダック100	30,883.15	0.2	3.9	23.1	23.0	22.3
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	12,572.42	▲ 4.3	▲ 3.0	44.7	83.8	77.5
欧州	欧州 ｽﾄｯｸｽ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ600	631.55	0.0	▲ 1.5	3.1	10.5	6.6
	英国 FTSE100	10,552.05	0.9	0.8	▲ 0.5	11.0	6.2
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	649.97	▲ 1.0	▲ 2.5	3.1	9.5	6.2
	ドイツ DAX	25,087.27	▲ 0.6	▲ 0.1	5.4	1.9	2.4
アジア・オセアニア	中国 CSI300	4,317.25	▲ 0.9	▲ 11.5	▲ 5.5	▲ 8.3	▲ 6.8
	中国 上海A株	3,998.45	▲ 0.7	▲ 5.5	▲ 3.9	▲ 3.0	▲ 3.9
	中国 深圳A株	2,479.39	▲ 1.5	▲ 12.5	▲ 9.3	▲ 7.1	▲ 6.4
	中国 創業板	3,043.34	▲ 2.9	▲ 24.3	▲ 8.4	▲ 6.7	▲ 5.0
	香港 ハンセン	24,211.35	1.0	0.8	▲ 6.0	▲ 9.5	▲ 5.5
	台湾 加権	49,313.44	1.7	8.7	41.5	80.6	70.3
	韓国 KOSPI	6,625.93	▲ 5.4	▲ 9.1	14.7	86.7	57.2
	シンガポール ST	5,401.89	▲ 4.1	▲ 0.6	8.5	21.7	16.3
	マレーシア FBM KLCI	1,608.45	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 4.6	▲ 1.3	▲ 4.3
	タイ SET	1,577.65	0.4	▲ 1.9	5.9	20.1	25.2
	インドネシア ｼﾞｬｶﾙﾀ総合	6,093.76	0.9	3.1	▲ 16.6	▲ 26.1	▲ 29.5
	フィリピン 総合	5,700.99	1.3	▲ 8.4	▲ 6.4	▲ 5.9	▲ 5.8
	ベトナム VN	1,735.09	▲ 0.2	▲ 5.7	▲ 0.1	1.1	▲ 2.8
	インド SENSEX	72,472.33	0.8	▲ 5.6	▲ 5.4	▲ 11.8	▲ 15.0
	豪州 S&P/ASX200	8,716.64	0.4	▲ 0.5	▲ 2.9	▲ 2.8	0.0
中南米	ブラジル ボベスパ	209,066.90	8.8	21.0	7.1	47.5	29.8
	メキシコ IPC	66,048.57	2.4	▲ 0.1	▲ 6.1	8.6	2.7
他	南ｱﾌﾘｶ FTSE/JSEｱﾌﾘｶ全株	108,524.80	0.1	▲ 0.9	▲ 8.2	▲ 1.6	▲ 6.3
債券	日本国債 注5	282.24	0.6	▲ 0.4	▲ 3.6	▲ 7.8	▲ 5.7
	先進国(除く日本)国債 注6	1,044.95	▲ 0.1	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 1.2	▲ 2.6
	新興国債券 注7	920.91	1.4	▲ 2.5	▲ 0.8	3.0	0.6
利回り*	日本国債2年物	1.924	0.009	0.484	0.533	0.992	0.746
	日本国債10年物	3.018	-0.075	0.142	0.626	1.322	0.952
	日本国債20年物	3.891	-0.062	0.002	0.598	1.175	0.907
	日本国債30年物	4.072	-0.129	0.050	0.450	0.886	0.671
	米国債2年物	4.789	-0.038	0.610	1.018	1.195	1.314
	米国債10年物	5.240	-0.033	0.687	0.964	1.101	1.071
	米国債20年物	5.645	-0.026	0.570	0.779	0.958	0.851
	米国債30年物	5.597	-0.024	0.531	0.715	0.875	0.752
	ドイツ国債2年物	3.127	0.051	0.480	0.608	1.130	1.005
	ドイツ国債10年物	3.481	0.019	0.397	0.493	0.778	0.626
	イタリア国債10年物	4.572	-0.034	0.734	0.835	1.064	1.021
	スペイン国債10年物	4.095	0.009	0.563	0.667	0.851	0.807
商品など	東証REIT(配当込み)	4,602.91	▲ 0.8	▲ 7.9	▲ 11.1	▲ 9.6	▲ 14.4
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 注8 (米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)	801.37	0.1	▲ 6.8	▲ 1.0	6.4	5.1
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 注8 (ﾍｯｼﾞなし・円ﾍﾞｰｽ)	976.25	0.6	▲ 9.0	▲ 1.5	10.2	6.2
	香港REIT 注9	638.75	2.4	▲ 1.3	0.3	▲ 2.7	7.8
	オーストラリアREIT 注9	1,168.34	3.7	▲ 6.9	▲ 0.7	▲ 15.3	▲ 13.5
	北海ブレント原油先物	104.72	2.4	37.2	9.2	60.6	72.1
	WT原油先物	91.85	0.8	27.4	▲ 6.2	49.3	60.0
	ニューヨーク金先物	4,216.30	1.3	1.8	▲ 12.5	6.1	▲ 2.9
	CRB指数	414.73	1.1	12.5	12.5	38.6	38.8
	シンガポール鉄鉱石先物	90.59	▲ 0.8	▲ 8.2	▲ 12.1	▲ 13.6	▲ 14.0
	S&P MLPﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	12,410.31	0.3	2.6	5.2	30.9	24.5
	S&P BDCﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	380.16	▲ 1.9	0.9	1.9	▲ 2.0	▲ 8.9
	ビットコイン	82,438.56	▲ 2.4	30.3	13.8	▲ 32.0	▲ 5.9

＊「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅

注8 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 ：S&PｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数(配当込み)

注9 香港/ｵｰｽﾄﾗﾘｱREIT指数 ：S&Pの各地域/国REIT指数(配当込み、現地通貨ﾍﾞｰｽ)

	為替(米ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽを除き、対円)	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
北米	米ドル・インデックス	102.21	0.3	1.3	3.4	2.7	4.0
	米ドル	158.31	0.3	▲ 2.5	▲ 0.4	3.4	1.0
	カナダ・ドル	111.04	0.3	▲ 3.1	▲ 3.5	1.7	▲ 2.8
欧州	ユーロ	177.34	▲ 0.2	▲ 4.5	▲ 4.6	0.2	▲ 3.6
	英ポンド	209.42	0.2	▲ 3.8	▲ 1.9	2.8	▲ 0.8
	スイス・フラン	190.69	0.2	▲ 5.2	▲ 5.2	0.4	▲ 3.5
	スウェーデン・クローナ	15.84	0.8	▲ 5.7	▲ 7.6	▲ 1.3	▲ 6.9
	アイスランド・クローネ	1.296	0.1	0.1	▲ 0.1	3.7	3.8
	ノルウェー・クローネ	16.56	1.0	▲ 0.8	▲ 1.0	8.9	6.6
	デンマーク・クローネ	23.73	▲ 0.2	▲ 4.4	▲ 4.7	0.1	▲ 3.7
アジア・オセアニア	中国人民元	23.64	0.4	▲ 1.1	1.6	10.0	5.3
	香港ドル	20.17	0.3	▲ 2.7	▲ 0.6	2.6	0.2
	台湾ドル	4.95	▲ 0.0	▲ 1.8	▲ 0.9	▲ 1.3	▲ 0.7
	韓国ウォン(100ウォン当たり)	11.81	0.6	9.5	9.6	10.0	8.9
	シンガポール・ドル	123.63	0.2	▲ 1.6	▲ 1.0	5.0	1.4
	マレーシア・リンギ	38.76	0.5	▲ 2.7	▲ 2.9	7.1	0.5
	タイ・バーツ	4.72	0.5	▲ 2.9	▲ 4.8	1.1	▲ 5.0
	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾙﾋﾟｱ(100ルピア当たり)	0.885	0.2	▲ 1.3	▲ 4.9	▲ 4.3	▲ 5.8
	フィリピン・ペソ	2.521	0.0	▲ 4.3	▲ 5.2	▲ 4.1	▲ 5.1
	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ﾄﾞﾝ(100ドン当たり)	0.612	0.7	▲ 1.0	1.4	5.3	2.7
	インド・ルピー	1.64	▲ 0.2	▲ 3.9	▲ 4.7	▲ 5.0	▲ 6.3
	オーストラリア・ドル	110.54	0.7	▲ 1.9	▲ 1.8	10.2	5.7
	ニュージーランド・ドル	88.88	0.3	▲ 4.9	▲ 4.6	1.1	▲ 1.6
中南米	ブラジル・レアル	31.75	4.8	0.0	1.0	11.4	11.4
	メキシコ・ペソ	8.60	▲ 1.1	▲ 7.1	▲ 6.1	3.3	▲ 1.2
	ｺﾛﾝﾋﾞｱ・ﾍﾟｿ(100ペソ当たり)	4.96	2.7	0.7	13.8	26.0	19.6
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	16.19	1.5	▲ 7.5	▲ 9.0	0.5	▲ 7.0
	ペルー・ヌエボ・ソル	45.97	0.1	▲ 3.8	▲ 2.4	2.9	▲ 1.4
東欧	ポーランド・ズロチ	40.43	▲ 0.2	▲ 5.7	▲ 7.7	▲ 2.8	▲ 7.4
	ﾊﾝｶﾞﾘｰ・ﾌｫﾘﾝﾄ(100フォリント当たり)	48.60	0.8	▲ 6.5	▲ 1.6	7.4	1.5
	ルーマニア・レイ	33.21	▲ 0.2	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 4.4	▲ 8.1
	トルコ・リラ	3.21	▲ 0.1	▲ 7.2	▲ 10.0	▲ 12.3	▲ 11.8
その他	南アフリカ・ランド	9.59	1.2	▲ 3.6	▲ 1.4	7.9	1.3
	エジプト・ポンド	3.02	0.1	▲ 7.5	1.0	▲ 6.1	▲ 8.1

（騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高）

注1 世界株価指数 ：MSCIｵｰﾙｶﾝﾄﾘｰﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注2 先進国株価指数 ：MSCIﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注3 先進国(除く日本)株価指数 ：MSCI-KOKUSAIｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注4 新興国株価指数 ：MSCIｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾄ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)

注5 日本国債指数 ：FTSE日本国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(円ﾍﾞｰｽ)

注6 先進国(除く日本)国債指数 ：FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

注7 新興国債券指数 ：JPﾓﾙｶﾞﾝ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾂ・ﾎﾞﾝﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾗｽ(ﾍｯｼﾞなし・米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

※右表の為替ﾚｰﾄは原則としてﾆｭｰﾖｰｸの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのﾃﾞｰﾀもﾆｭｰﾖｰｸ17時時点です。

※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

先週の主な出来事（株式市場での反応を○、△、×の順で評価）

日付	市場の反応	国・地域	指標など（コメント）
10月5日（月）	○	ｱｼﾞｱ	**米早期利上げ観測の後退が好感される** 前週末の米国で、9月の雇用者数が市場予想を下回ったことに伴ない、早期利上げ観測が後退し、ﾊｲﾃｸ株を中心に株高となった流れを受け、ｱｼﾞｱの株式相場も上昇した。日本の国債利回りは、米長期金利の上昇一服を受け、10年債では低下したが、超長期債では上昇した。円相場は、一時1ﾄﾞﾙ＝158円台に下落する場面もあったが、概ね157円台後半で推移した。ただし、ﾌﾗﾝｽの政治・財政不安を背景に対ﾕｰﾛでは上昇し、一時1ﾕｰﾛ＝176円25銭前後と、2025年11月以来の円高・ﾕｰﾛ安水準となった。なお、中国本土市場は国慶節の連休で7日まで休場だった。
	○	欧米	**原油先物が続落** ECB(欧州中央銀行)のﾁｰﾌｴｺﾉﾐｽﾄ、ﾚｰﾝ理事や独連銀総裁が、ｲﾝﾌﾚ抑制には慎重な対応が必要との見解を示した。また、住宅価格や家賃の高騰が社会問題となっているｽﾍﾟｲﾝで、緊急の住宅対策案が議会で否決されたことを受け、11月29日に総選挙を実施すると首相が表明した。米国では、9月のISM(供給管理協会)非製造業景況指数が前月比▲0.5ﾎﾟｲﾝﾄの54.9と、3ヵ月ぶりに低下した。同指数は50が好・不調の境目。ただし、仕入価格指数が2022年7月以来の高水準となり、ｲﾝﾌﾚ懸念につながった。また、ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱの国営石油会社が、11月のｱｼﾞｱ向けの原油価格を市場予想に反して引き下げたほか、中東からの原油の輸出量が回復に向かっているとの観測などもあり、欧米の原油先物が続落した。欧州の国債市場では、仏国債の売りが一服し、利回りが低下した一方、その他の国では利回りが上昇した。欧州株式相場は、原油安などを背景に総じて続伸したが、企業買収を発表した電機大手の株価が急落したﾌﾗﾝｽでは、相場は反落した。米国では、欧州での国債利回りの高止まりが嫌気され、国債が売られ、利回りが一時、10年債で5.34%台、30年債では5.70%台と、2002年以来の高水準となった一方、中期債では低下した。株式市場では、大型ﾊｲﾃｸ株などを中心に相場が続伸し、ﾅｽﾀﾞｯｸ総合指数は最高値を更新した。外国為替市場ではﾄﾞﾙが堅調となり、一時、対ﾕｰﾛで2025年5月以来のﾄﾞﾙ高・ﾕｰﾛ安水準となったほか、ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽは同年4月以来の高値をつけた。
6日（火）	○	日本	**公的年金による円資産投資拡大との思惑が外れ、円安に** 日銀が政策運営にあたって重視する基調的な物価上昇率について、2%に達したとの認識を示す方向で検討に入ると一部で報じられた。また、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が前月に開いた経営委員会の議事次第が公表されたが、基本ﾎﾟｰﾄﾌｫﾘｵの検証に関する報告はなかった。市場の一部で浮上していた、GPIFによる円資産への投資拡大という思惑が外れた形となり、円相場は158円台に下落した。株式市場では、前日の米国市場での流れを受けたﾊｲﾃｸ株高に加え、日銀報道を受けての利上げ観測を背景とした銀行株の堅調、さらに、円安を背景に輸出関連株が買われたこともあり、相場が続伸した。国債利回りは上昇し、一時、新発30年債では過去最高となった。なお、台湾や香港でも株式相場が続伸した。
	○	欧州	**欧米長期金利の上昇が一服** ﾌﾗﾝｽで、来春の大統領選挙への立候補を表明している極右政党・RN(国民連合)のﾙﾍﾟﾝ氏が、財政赤字のGDP比を2027年に3.7%、2032年には2.2%とすることをめざすと表明した。同国財政への警戒感がやや和らいだほか、欧米の原油先物が一時、下落したことなどもあり、ﾌﾗﾝｽや南欧諸国を中心に欧米の国債利回りが低下した。欧米株式相場は、長期金利の低下を受けて上昇し、米国ではS&P500、ﾅｽﾀﾞｯｸ総合の両指数が最高値を更新した。外国為替市場ではﾕｰﾛが上昇した。なお、7日のｱｼﾞｱでは、AI(人工知能)・半導体関連株を中心に利益確定売りが拡がり、日本や台湾、韓国の株式相場が下落した。日本の国債利回りは、日本時間に米長期金利が上昇したことなどから、中・長期債では上昇した。香港株式も、翌日に中国本土市場の再開を控えての持ち高調整の売りなどから反落した。
7日（水）	×	欧米	**仏長期金利が上昇し、ﾄﾞｲﾂとの利回り格差が拡大** 仏大統領選挙をめざす候補者らが、ﾌﾗﾝｽ国債の買入れなど、ECBによる市場介入を求める中、仏中銀総裁は、ECBは各国の財政問題に対処するために存在しているのでは(右上に続く)
			(左下より続く) ないとして、現時点での介入を否定した。ｴﾈﾙｷﾞｰ価格の高止まりもあり、同国を中心に欧州の国債利回りが上昇したが、ﾄﾞｲﾂではほぼ横ばいとなり、仏・独10年債の利回り格差が拡がった。欧州株式相場は、銀行株やﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株を中心に反落した。外国為替市場ではﾕｰﾛが売られた。米国では、ﾆｭｰﾖｰｸ連銀の9月の消費者調査で、1年先のｲﾝﾌﾚ期待が3.90%と、市場予想を上回り、2023年5月以来の高い水準となった。また、9月のFOMC(連邦公開市場委員会)の議事要旨が公表され、参加者の大部分が年内にさらなる追加利上げが適切となる可能性が高いとみていたことが明らかになった。国債利回りが上昇し、一時、10年債で5.36%台と、2002年4月以来の高水準となった。ただし、10年債の入札が堅調となったことを受けて利回りは低下に転じ、ほぼ横ばいで引けた。株式市場では、金利や原油価格の高止まりを背景に景気敏感株が売られたほか、大型ﾊｲﾃｸ株の一角も利益確定売りに押され、相場が反落した。原油先物は、IEA(国際ｴﾈﾙｷﾞｰ機関)が3月に開始した戦略備蓄の放出を加速し、早期に完了させると発表したことなどを受け、反落した。一方、金先物は米金利の先高観などを背景に売られた。
8日（木）	×	世界	**米国によるｲﾗﾝ攻撃再開の可能性が報じられ、原油先物が上昇** ｲｽﾗｴﾙでの10月27日の総選挙や11月3日の米中間選挙が迫る中、米国で7日、国防総省がｲﾗﾝに対する戦闘の再開に向けた準備を軍に指示したと報じられるなど、ｲﾗﾝ攻撃の可能性に関する報道が相次いだ。8日には、ｱｼﾞｱ時間に欧米の原油先物が上昇した。前日の米国で半導体関連株が売られた流れを受け、日本や台湾、韓国、香港の株式相場が続落したほか、連休明けとなった中国本土市場でも株安となった。
	○	欧米	**ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領、中間選挙前のｲﾗﾝ攻撃の可能性を否定** 欧州では、原油先物の急上昇を受けてｲﾝﾌﾚ懸念が強まり、国債利回りが総じて上昇したほか、銀行株などを中心に株式相場は続落した。米国では、ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領が、ｲﾗﾝと建設的な協議が行なわれているとして、中間選挙の前に同国を攻撃することはないとSNSに投稿した。これを受け、原油先物は上げ幅を縮めて引けた。国債利回りは、原油高を受けて上昇する場面もあったが、国債入札が堅調な結果となったほか、大統領のSNS投稿が好感されたこともあり、引けにかけては低下に転じた。株式市場では、長期金利の低下を受けて消費関連株などが買われた一方、AI研究・開発企業の年換算売上高が一部の推計を下回ったと報じられたことを受け、AIへの巨額投資に対する懸念が再燃し、半導体関連株が売られたことなどから、相場はﾏﾁﾏﾁとなった。外国為替市場では、米長期金利の低下などを受け、円相場が157円台に上昇した。なお、9日の日本では、前日の米ﾊｲﾃｸ株安を受け、AI・半導体関連銘柄の一角が売られ、日経平均株価は僅かながら続落したものの、出遅れ感のあった銘柄が買われ、TOPIXは反発した。国債利回りは、ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領のSNS投稿後に原油先物の上昇が一服したことなどを背景に低下した。円相場は、日本時間に米長期金利が上昇したことなどから、158円台に下落した。
9日（金）	△	米国	**ﾊﾘｹｰﾝの接近に伴ない、原油先物が続伸** 10月のﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数速報値は前月比▲1.8ﾎﾟｲﾝﾄの46.3と、5ヵ月ぶりの低水準となった。欧米の原油先物は、概ね軟調に推移したが、米国へのﾊﾘｹｰﾝの接近に伴ない、ﾒｷｼｺ湾岸で原油生産の停止が拡がっていると伝わったことなどを受け、引けでは続伸した。欧州では、国債利回りが低下したものの、引けにかけて下げ幅は縮まった。米国の国債は、持ち高調整の売りなどもあり、利回りが上昇した。ただし、ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領が、ﾛｼｱのﾌﾟｰﾁﾝ大統領と協議し、ﾛｼｱ産軽油を世界に供給することで合意したとSNSに投稿すると、利回りの上げ幅は縮まった。欧州株式が反発したほか、米国でも主力ﾊｲﾃｸ株などを中心に株式相場は上昇した。

今週の主な注目点

米国では、9月の中古住宅販売件数(13日)、同月の消費者物価指数(14日)、10月のﾆｭｰﾖｰｸ連銀製造業景気指数、同月のﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ連銀製造業景気指数および9月の小売売上高(15日)、9月の鉱工業生産(16日)が発表されるほか、FRB(連邦準備制度理事会)のｳｫｰｼｭ議長による対談(16日)など、金融当局者の講演等が相次ぐ。また、大手金融機関を皮切りに7-9月期の決算発表が始まる。日本では、16日の全国信用組合大会で日銀の内田副総裁が植田総裁の挨拶を代読する。そのほかに、G20(20ヵ国・地域)財務相・中央銀行総裁会議(15日)、EU(欧州連合)首脳会議(15・16日)が予定されている。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。